

年間重篤患者数(平成24年4月～平成25年3月)

番号	疾病名	基準	患者数 (人)	退院・転院 (転棟を含む) (人)	死亡 (人)
1	病院外心停止	病院前心拍再開例、外来での死亡確認例を含む	80	7	73
2	重症急性冠症候群	切迫心筋梗塞、急性心筋梗塞又は緊急冠動脈カテーテル施行例	108	103	5
3	重症大動脈疾患	急性大動脈解離又は大動脈瘤破裂	60	53	7
4	重症脳血管障害	来院時JCS 100以上、開頭術、血管内手術施行例又はtPA療法施行例	36	29	7
5	重症外傷	Max AISが3以上又は緊急手術施行例	40	36	4
6	重症熱傷	Artzの基準による	8	8	0
7	重症急性中毒	来院時JCS 100以上又は血液浄化法施行例	10	10	0
8	重症消化管出血	緊急内視鏡施行例	4	3	1
9	重症敗血症	感染性SIRSで臓器不全、組織低灌流又は低血圧を呈する例	28	23	5
10	重症体温異常	熱中症又は偶発性低体温症で臓器不全を呈する例	3	3	0
11	特殊感染症	ガス壊疽、壊死性筋膜炎、破傷風等	7	7	0
12	重症呼吸不全	人工呼吸器管理症例(1から11までを除く。)	19	15	4
13	重症急性心不全	人工呼吸器管理症例又はSwan-Ganzカテーテル、PCPS若しくはIABP使用症例(1から11までを除く。)	51	45	6
14	重症出血性ショック	24時間以内に10単位以上の輸血必要例(1から11までを除く。)	0	0	0
15	重症意識障害	JCS 100以上が24時間以上持続(1から11までを除く。)	34	31	3
16	重篤な肝不全	血漿交換又は血液浄化療法施行例(1から11までを除く。)	2	0	2
17	重篤な急性腎不全	血液浄化療法施行例(1から11までを除く。)	6	5	1
18	その他の重症病態	重症膵炎、内分泌クリーゼ、溶血性尿毒症性症候群などで持続動注療法、血漿交換又は手術療法を実施した症例(1から17までを除く。)	29	24	5
合計			525	402	123